裏面は取扱説明書となっておりますので、施工終了後にこの用紙を施主様へお渡し願います。

ＴＭ－００８７－０１　　０７.０１

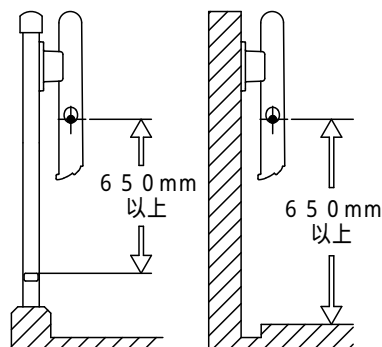
ホスクリーンＨＤ型　取付け上の注意

●正しく施工して頂くために、施工前に必ずこの「取付け上の注意」をお読み下さい。

⚠ 注意１　この物干金物は家庭用です。物干し以外の用途には使用しないで下さい。
⚠ 注意２　落下事故防止のため、物干金物をベランダの外側には取付けないで下さい。
⚠ 注意３　非常口、避難ハッチ等の妨げにならない場所にお取付け下さい。
⚠ 注意４　高所での作業は部品等の落下に十分注意して下さい。

手摺(腰壁)側に取付ける時の「取付け高さ」について

幼児のベランダ乗り越えによる落下事故防止のため、物干金物は極力高い位置に取付けて下さい。

公営住宅建設基準では、「足がかり」や「足のかかる部分」から６５０mm以内に再び「足のかかる部分」がある場合は、そこからの手摺高さが８５０mm以上となるように定めています。
しかし手摺をそんなに高く出来ませんので、物干金物の取付位置を高くする必要があります。

※安全に関する事なので、公営住宅でなくても同様の配慮をお勧めします。

●取付け場所・位置

物干金物の取付け場所や位置（高さ等）については図面指定があればそれに従い、ない場合は御施主様との打ち合わせにより決定して下さい。

構造や取付け方法によっては、その場所に下地材を前もって準備しておく必要があります。

●取付け部の強度

使用するネジ等が十分に効く事だけでなく、その他の影響にもご注意下さい。

・サイディング材の裏に中空部がある場合、その奥の柱にコーチスクリュー等を効かせようとすると外壁材が破損する場合があります。

・外壁材の縁から近い所に穴あけ・ネジ締め等を行った場合も、ひびが入って後から破損や浸水する恐れがあります。

●ネジの長さ

壁材が厚く、取付け面から下地材(ネジが有効に効く部分)までが遠い場合は、それに見合った長さのネジをご用意いただく必要があります。

●防水処置

取付ネジ部から浸水があると、柱の腐食にまで進行する恐れがあります。
外壁材などに下穴をあけたら穴やその周辺に防水シール材を充填し、浸水のないようにして下さい。

物干金物の外周部にシーリングをした場合も、取付ネジ部や金物構造の隙間から浸水がありますので必ず穴をあけた部分の防水処置をして下さい。